

【初級コース】「劇のせりふを読んでみよう」

【上級コース】「名作戯曲を読もう ～ 森本薫 作品より～」

戯曲とは「劇のせりふ」。今回の番外編ワークショップは 文学座 瀬戸口郁氏 を講師に迎え、「『ぎきょく』って何？」「おもいっきり声を出して劇のせりふを体験してみたい」という初級者の方から、「声の出し方などもう一度一から学びたい」という演劇経験者の方まで、それぞれの経験にあったクラスで体験できるワークショップを実施します。

講師

せとぐち かおる
瀬戸口 郁

俳優・劇作家／文学座



山口県山陽小野田市出身。慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。大学在学中に文学座附属演劇研究所に入所。その後、俳優として「女の一生」「華岡青洲の妻」「モンテ・クリスト伯」「再びこの地を踏まず」など文学座の舞台を中心にテレビ、ラジオで活躍。初めて主役を演じた「寒花」（文学座アトリエの会）が1997年読売演劇大賞優秀作品賞を受賞。また、劇作家としても数多くの作品を手掛け、ストレートプレイ、ミュージカル、古典芸能とジャンルを問わず旺盛な執筆活動を展開している。脚本作品「てくれつつのば」（劇団文化座）は平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞（演劇部門）。また、小・中・高校生、社会人を対象にワークショップ講師として全国で活動。近年は社会包摂事業として、岐阜県内公立高校において高校生のコミュニケーション能力育成のための演劇の授業（アートと社会の関係性を世に問いかけるものとして注目を集める）を展開。

現在、慶應義塾大学文学部特別講師、都立総合芸術高等学校特別専門講師、東京藝術大学非常勤講師。

森本 薫（もりもと かおる） 1912-1946 大阪市東淀川区生まれ。同人雑誌に発表した戯曲が小山祐士、田中千禾夫の眼にとまり、「劇作」に発表した『みごとな女』（後に文学座第一回公演【試演】として初演）が岩田豊雄の絶賛を受け、「劇作」同人になる。1935年『わが家』（岩田豊雄演出）が築地座で初演、23歳で劇作家としてのスタートを切る。1940年岩田豊雄に推され文学座に入座。『わが町』翻訳、『富島松五郎伝』脚色、『怒濤』、そして最後の作品『女の一生』を書き下ろす。『女の一生』は文学座史上最多公演数を誇り、50年以上にわたって附属演劇研究所発表会の演目として毎年上演されている、文学座の＜宝＞である。肺結核再発のため病床で『女の一生』を改訂、1946年10月6日死去。享年34歳。[文学座HPより]

日 時	3月13日(土)	3月14日(日)	3月20日(土祝)	3月21日(日)
初級コース	① 9:00～12:00	② 9:00～12:00		③ 9:00～12:00
上級コース	①13:00～17:00	②13:00～17:00	③18:00～21:00	④13:00～17:00

内 容 <<初級コース>>全3回 *対話の基本 *戯曲のワンシーンをシーンスタディ <<上級コース>>全4回 *「森本薫作品」より1つの作品を読み込む *通しの発表 ◇各コースの使用する戯曲は当日までお知らせします。	対 象 16歳以上の方 *原則すべての回参加できる方。(応相談) *未成年者は保護者の同意が必要です。
	募集人員 各コース15人程度 *申込多数の場合宇部市民優先となります。
	受講料 2,000円(高校生以下1,000円)
	申込締切 2021年2月28日(日)*定員になり次第締め切ります。
	申込方法 Eメール、ファクシミリ、または郵送で下記を明記し申込ください。①氏名 ②住所 ③年齢 ④職業(学校) ⑤連絡先 ⑥Email ⑦活動略歴 ⑧応募理由等(400字程度)
会 場 宇部市文化会館第1研修室	お問合せ・申込先 一般財団法人宇部市文化創造財団 電話 0836-35-3355 〒755-0041 宇部市朝日町8番1号 宇部市文化会館内 ファクシミリ 0836-31-7306 受付時間 9:00～17:00(休館日 12/29～1/3) Email kikakuka@ube-bunzai.jp